



Eジャーナルしずおか

平成24年(2012年)
9月20日
木曜日
第100号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_saisaku@pref.shizuoka.lg.jp

キャリア・コンサルタント派遣事業

キャリア・コンサルタントって何?

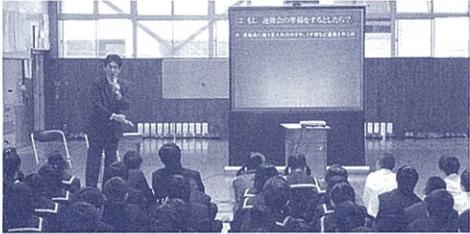
本来は、就職を希望する人に対して、様々な相談支援を行う専門職です。最近では、小・中学校におけるキャリア教育の実践を支援する存在として全国的にも注目され、活躍しています。

キャリア・コンサルタントを活用した取組の一部を紹介します。

職場体験を軸としたキャリア教育プログラム

○キャリア・コンサルタントによる講話

社会や職業に対して興味や関心を持ち、視野を広げる。



14歳のハローワーク

○教材カードを使ってのグループワーク

職業について広く正しい情報を知り、自らの志向や適性について考える。



カードセッションの様子

○キャリア・コンサルティング(個別相談)の実施

職場体験の受入れ事業所から、体験学習を行った生徒の表れについて聞き取り、広い視野で生徒に対して助言や支援を行う。

○教員向けキャリア・コンサルティング研修会の実施

多くのカウンセリングやセミナー等の経験から、学校内部だけでは収集できない、社会の現状について様々な情報を提供する。

県教育委員会では、職場体験の一層の充実にあたり、モデル校(中学校17校、小学校3校)にキャリア・コンサルタントを派遣し、学校と連携して授業実践を行っています。

未来の自分につなげる

大人の世界に直接触れる職場体験は、生徒の成長を促す大変よい機会です。単発のイベントで終わらせないように、事前学習や事後学習も含めた生徒の学びの充実が、自らの生き方をしっかり見つめることになり、未来の自分につなげるチャンスとなります。

県教育委員会では、将来の夢や職業、働くことなど、自分の生き方について考えることができるような学習プログラムを作成し、その成果をホームページで発信する予定です。【学校教育課小中学校教育局】

「わたしの主張2012」 心に響く中学生の発表 最優秀賞は飯山亜美さん

中学生が学校や家庭など日常生活の中で感じたことや、未来への希望を発表する「わたしの主張2012」県大会を、8月17日、菊川文化会館アエルにて開催しました。

中学生の思いが込められた発表を通じて、聴衆の皆さんには、中学生の健全で豊かな感性を実感していただけたのではないのでしょうか。

本大会は、昭和54年の国際児童年をきっかけに開催され、今年で34回目を迎えた歴史ある大会です。

応募作品数、1万8473点の中から県内4地区の大会で選ばれた12人が壇上で自分の思いを発表しました。

今年度は、困難に立ち向かうとすべく、支えてくれる人たちの助け合いの大切さを表現した作品が多く寄せられました。また、自分の生まれ育った地元や遠く離れた故郷、違う文化を持つ外国等様々な地域へ目を向けた作品も多く、フレッシュな感覚にあふれる主張が印象的でした。

最優秀賞の、御殿場市立原里中学校3年の飯山亜美さんは、「弟」と題した作文で、障がいを持つ弟との日常や、特別支援学校を訪れた体験によって変化した自分の思いを発表しました。弟とのコミュニケーションに用いている「マカンスイ」を使って、「わたしには大好きな弟がいます」と語る飯山さんの主張は、私たちをとても清々しい気持ちにさせてくれました。

飯山さんは、関東甲信越静岡ブロック大会に進み、11月に行われる全国大会への出場を目指します。【社会教育課】



子どもたちの心の今

今、子どもたちの心が揺らいでいます。様々な調査からは、生活環境や社会環境の変化の中で、生きることの大切さ、自己の豊かな生き方などを描くことが苦手となってきている子どもたちの姿が浮かび上がります。

道徳教育の改善の方向

このような子どもたちの課題に対応するために、各学校や各地域の実態に応じた一丸となつて、指導体制と計画を作り、道徳教育を推進していかなくてはならない状況にあります。そのためにも、まずは、教師と子ども、子ども同士の良好な人間関係の理解や協力の連携に基づき、学校生活全般

このような子どもたちの課題に対応するために、各学校や各地域の実態に応じた一丸となつて、指導体制と計画を作り、道徳教育を推進していかなくてはならない状況にあります。そのためにも、まずは、教師と子ども、子ども同士の良好な人間関係の理解や協力の連携に基づき、学校生活全般

平成23・24年度は、富士宮市立上野小学校、上野小学校に研究実践の取組をお願いしています。上野小学校、上野中学校では、子どもたちの良さや課題、地域の素晴らしさに根ざした先進的かつ日常的な実践に取り組んでいます。

高校生の交通安全

平成17年から21年まで減少してきた県内高校生の交通事故死傷者数が、平成22年から急激に増加しました。平成23年には、4人の県内高校生の尊い命が交通事故により奪

その結果、交通安全に無関心の生徒が12%(約8千人)いることや、自己防衛意識の低さなどが懸念されています。

これは、生徒が自分の命を守るために、自身の姿勢ではなく、同じ地区の他校の生徒と協力して、主体的な協議や活動により、交通事故を防止しようという取組です。

今後は、協議会の内容を代表生徒が自校の生徒に伝達し実践することで、県内全域で高校生の交通安全に対する意識が高まり、交通事故の削減につながることが期待されます。【学校教育課健康・安全班】



道徳の時間で豊かな心を育てる

自分への信頼感や自信などの自尊感情の乏しさを、他者への思いやりを欠いたり、人間として持つべき最低限の規範意識が見受けられない問題行動も見られたりしています。

縦の接続・横の連携

道徳教育の充実・改善に向けては、大きく二つの方策があります。一つは、小・中学校9年間を見通し(縦の接続)、各発達段階における指導の重点を明確にして、道徳の時間を工夫改善を

実践的な取組・研究の発表会を開催

高校生の交通安全地域連絡協議会

上野小学校または上野中学校のホームページを御覧ください。

高校生の意識の高さは?

県教育委員会では、高校生の交通事故が増加した原因を探るため、公立高等学校の全ての生徒を対象として、「高校生の交通安全に関する意識調査」を実施し、生徒の交通安全に対する意識の持ち方や、交通ルールの理解度の把握に努めました。

そこで、各学校や地域の交通安全活動を充実させるため、本年度より「高校生交通安全地域連絡協議会」を開催することにしました。

積極的な意見が次々と協議会では、実際に自分が交通事故に遭った怖い経験を他の生徒へ伝えたい、近隣の学校が協力して、他校の生徒にも生徒同士で注意したいなど、

子どもたちに豊かな心を育む手立て

道徳教育総合支援事業

関係づくりを大切にしていくことが必要です。県教育委員会では、中学校区単位の小・中学校が連携を図り、保護者や地域とともに道徳教育を推進する「道徳教育総合支援事業」を進めています。

子どもたちの豊かな心は、学校だけでなく家庭や地域社会において育まれます。道徳教育の充実にあたり、学校と保護者、地域との連携が欠かせません。



れるなど、重大な事故が多発しました。県内高校生の交通事故の約70%は自転車乗用中によるもので、登下校時に多く発生しています。

自分の命は自分で守る

そこで、各学校や地域の交通安全活動を充実させるため、本年度より「高校生交通安全地域連絡協議会」を開催することにしました。



活発に協議する生徒たち

実践NOTE 199

「いのち」を思いやる心を育てる

「生命尊重」の重点的な指導の試み

三島市立錦田小学校 教諭 福田 夕子



教室の前で集めて、資料の絵本を読み聞かせ(筆者)

「自他の『いのち』を思いやる心を育てる道徳教育」といって三島市教科等指導リーダー道徳部会の研究テーマのもと、試みとして実践している「各教科等や複数時間の関連を図った道徳の時間(2年生における授業)について紹介します。」

「ぼくの命もつながっているんだね!」まず、国語科で学習した「ぼたるの一生」(学校図書)と関連をもたせた授業を行いました。資料として、絵本「いのちのまつり」を使いました。「ぼたるの命はつながっているんだね」という国語科での気付きをさらに深め、自分の命もまたぼたるの祖先からつながってきたことを感じることに

「へえー、ぼくの命って子どもたちは、人が生ま



小さな命を感じた子どもたち(学級活動で)

「すごいんだね」と言った主人公の気持ちを考えようとして投げかけたときのことです。友達の見聞を聞きながら「命をバトンタッチしていくみたい」とつぶやいた子がいました。「どういうこと?」と問

「必死に生んでもらうた命は今...」最後に行ったのは、資料集(文溪堂)の「ふしぎな音」を使った授業です。「先祖からつながってきた命」「お腹の中で大切に育てられ、母親が必死に産んで誕生した命」が、「今、自分の中にいることを実感してもらいたい」という思いで行いました。

子どもたちは、資料を通して「当たり前にしていることも生きていくか」に気づくことができました。主人公と同じく意識しながら、日々の授業や活動を大切に積み重ねていきたいと思います。



ドキンキン!聞こえたよ!



「不思議な音」の授業の板書

に、実際に聴診器を使って自分や友達の内音を聞く活動も取り入れられました。「心臓の音を聞いたら、ドキンキンという音がして、すごいなと思いました。命は目には見えなくても、命を大切にしようと思いました。」友達の内音を聞いてみると、音が違いました。命の音が同じだと思っただけ、それぞれ違うんだね。子どもたちの言葉から、心音が聞こえた喜びや感動を味わいながら「みんなが今、生きている」とを感じているのが伝わってきました。

道徳の時間は、一つの主題を1単位時間を取り扱うことがほとんどです。しかし、内容によっては複数時間の関連を図ったり、各教科等での学びを意識して関連付けたりすることが主な理由だと思

そこで、グループで話し合い、その結果を小ホワイトボードを活用して発表し、全体で討論することが、人に伝えたいという気持ちや、グループでの話し合いを活性化

「道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものである」という視点を常に持ち、道徳の時間は「要一」であることを意識しながら、日々の授業や活動を大切に積み重ねていきたいと思います。

実践NOTE 200

自分の考えを自分の言葉で伝える

科学的思考力表現力の育成を目指して

静岡県立大井川高等学校 教諭 青島 征男



筆者

小ホワイトボードを利用したグループ活動

本校の生徒は自分の意見を率先して発表することが苦手です。その理由は様々ですが、自分の考えに自信を持っていないことが主な理由だと思

①最も肝要なのは発問です。学習内容に関連して生徒が興味関心を抱くような実験を設定し、結果を予想する問題を提示します。思考が拡散しないように、いくつかの選択肢を与えて答えさせます。

②結果の予想は個人で行い、生徒同士の間で話し合い、その結果を小ホワイトボードを活用して発表し、全体で討論することが、人に伝えたいという気持ちや、グループでの話し合いを活性化



ホワイトボードを利用した活動の様子

④各グループで討論し、ホワイトボードに予想と理由をまとめます。このとき、なるべく多くの理由を併記させます。このように活動を通して、生徒がどのような概念を握り所に、理由を考えたかを把握します。



ホワイトボードを利用した発表の様子

⑤全体で発表し討論します。正解・不正解が大切ではないこと、間違えてよいこと、むしろ間違えた方が記憶に残るので良いこと、授業後に正しい理由と結果を自分の言葉で説明できるようにすることが大切です。



実験で確認の様子

全体を通して 正解・不正解が大切ではないこと、間違えてよいこと、むしろ間違えた方が記憶に残るので良いこと、授業後に正しい理由と結果を自分の言葉で説明できるようにすることが大切です。

結果を予想し理由を考えて発表することで、生活の中で生徒が培ってきた知識や思考方法が表現されます。誤った知識や概念・考え方が修正され、科学的に正しい知識、概念、思考方法を獲得できます。

⑥実験し、結果を確認します。生徒は結果がどうなったかを意識しますが、理由に注目するよう指導します。



私たちの学校に地域の芸術家がやってくる!文化出前講座の開催

県では、将来の県の文化の担い手として期待される子どもたちに、芸術文化への関心を高めてもらうため、小・中学校、高等学校、特別支援学校に地域の芸術家などを講師として派遣する「文化出前講座」を開催しています。

また、先生方にとっては指導方法や教材研究の参考にもなり好評です。なお文化出前講座のほか、県を窓口として応募する国主催(文化庁)の派遣事業があり、採択率も高く毎年30校以上で開催されています。

平成25年度開校の募集開始は、文化庁事業が11月ごろ、県事業が2月ごろの予定です。校内で本物の芸術を体験できる講座の開催をぜひ貴校でも計画してはいかがでしょうか。文化政策課 054(22)3109

言葉の重み
陸上競技部の顧問として練習や合宿、試合などにおいて、歓喜の涙、悔しきの涙を生徒と共にし...
余裕はありません。私が掛けたちよつとし



生徒たちの笑顔に囲まれて(筆者前列左端)

教育という職の素晴らしさ
頼られる喜びと責任 vol.4

県教育委員会事務局スポーツ振興課 竹村 祐

競技レベルに関わらず、妥協しない厳しさも求めてきました。卒業後、何年経っても「あの時のことを思い出

笑顔求めて
新任の頃は、生徒と一緒に練習したり、グラウンドを草取りをしたり、茶髪を

「あの時のことを思い出すだけでドキキする」と言う子もいます。生徒にとっては、あの経験があつたからこそ乗り越えられる、という人生の拠

があります。掛ける言葉の重みを感じます。悪い部分は目につくため、注意しがちです。しかし、全部は目につくため、注

社会教育の新しい展開をめざして
～学校・家庭・地域が連携する仕組みづくり～

これは、第32期県社会教育委員会の審議課題です。学校・家庭・地域の連携は、以前から議論されてきた古く新しいテーマです。審議会は、このことについて、2年間かけて審議し、8月1日に報告書が県教育長に提出されました。

提言の要旨

- 1 社会全体で教育に関心をもち、教育環境の整備に向かう働きかけ
2 社会教育に理解のある人材の養成と活用
3 学校教育と連携いされがちな社会教育活動への積極的な社会教育行政の関与
4 大人の学習機会の保障のための連携施策の検討



安倍教育長に報告書を手交する鈴木良理社会教育委員長

今回の報告書では、学校・家庭・地域の連携を促進するための行政の果たすべき役割について御提言をいただきました。具体的には、教職員が社会教育を理解し、地域との連携を進めるための環境整備に努めることが強調されています。

組織の力
先日ある卒業生が、遠方から会いに来てくれました。困難を乗り越え、無事に高校を卒業することが出来た生徒です。高

生徒を軸に
私は、生徒が努力する姿勢を育む方法の一つは、些細なことでも認めたり、聞いたりすることだと考えています。全員が希望通りの学校生活を送ること

直すため一緒に丸刈りになったり、と今思えば強引な指導でした。もちろ

今年も9月10日の世界自殺予防デーにちなんで9月16日まで自殺予防週間が実施されました。自殺の背景には様々な要因があります。健康問題としては、自殺にいた



「頭痛がする」等です。睡眠に注目
睡眠は一般的に脳が疲れて機能が低下するため起こると考えられがち

高校生の研究成果を多くの方に
静岡県立大学環境科学研究所、静岡県工業技術研究所及び静岡県環境衛生科学研究所が主催する「環境フォーラム21」において、高校生の皆さんの自然科学に関する研究発表の場を設けます。

語学教師を対象とした国際会議
第38回全国語学教育学会年次国際大会(JALT2012)開催
会期 平成24年10月12日(金)～15日(月)
場所 アクトシティ浜松(浜松市中区)

睡眠の不調がもたらす影響
仕事では、能率が落ちます。物事への興味関心が減り、行動する気力がなくなるなどの悪影響が出ます。

教職員を対象とした相談窓口
電話相談窓口(24時間対応)
教職員健康相談24 ☎0120(24)8349
メンタルヘルス面接相談窓口(要予約)



〔共通事項〕 を生かした 音楽の授業

学習指導要領の全面実施に伴って、「共通事項」を意識した音楽の授業がたくさん見られるようになってきました。しかし、まだ学習活動の一部分でしか扱われておらず、子どもたちが十分に意識できていない場合もあるようです。

「要素」を絞り込む音楽には、その楽曲一曲だけでなく、音色、リズム、速度、旋律、強弱…と様々な「要素」を形づくっている要素が含まれています。この要素を切り出して学習を進めることができてと言えませんが、子どもたちがより感じ取りやすくするために、「この学習では、「この要素」と絞り込み、明確にすることが大切です。

例えば、小学校5年生の「いつでもあの海は」では、「音の重なりや和声の響き」「強弱」「旋律」等でも迫ることができ、ここでは、「音楽の縦と横の関係」を中心に扱うことにします。

前半はみんな同じ旋律を歌い、後半は二つのパートに分かれて合唱します。この曲の合唱部分には、旋律が追いかけ

つこのようにずれて出る部分と、同じリズムで歌われる部分とがあります。子どもたちに「声の重なり方はどう変わっていくかな」と発問して、簡唱を聴かせたり、楽譜に着目させて音符の並び方や旋律の動き方(音符を線で結ぶと分かりやすい)に気付かせたりします。子どもたちの意識は自然と旋律の重なり方の変化に向き、「はじめは一緒に歌っていたのに、途中から追いかけてこみかたくな」等、気付かせたい要素に関連した言葉を引き出すことができます。

曲の特徴に気付いたら、次は実際の表現に生かす活動を設定することも大切です。特徴を表すために何に気を付けて歌えよとか話したりする中で、聴き合ったりする中で、「追いかけてきた下のパートは、出だしをはっきり歌わないと上の音に消されて聞こえないよ」等の意見を引き出すことができます。

「追いかけてきた下のパートは、出だしをはっきり歌わないと上の音に消されて聞こえないよ」等の意見を引き出すことができます。

このように、手掛かりとなる要素を明確にし、感受と表現の両活動に生かしていくことで、音楽をどう考えたり工夫したりすればいいのか、子どもたち自身が分かる授業を目指したいものです。

「瑠璃色の地球も花も 宇宙の子」
これは、山崎氏が宇宙で詠んだ句です。11年間という長く過酷な訓練を乗り越え、夢を叶え、広大な宇宙を体感した山崎氏だからこそ伝えられるメッセを聞きに来てみませんか。

■日時 12月20日(木) 13時30分～15時15分
■会場 グランシップ中ホール ※入場無料
■申込期間 9月26日(水)～10月24日(水) 先着800人。定員になり次第締切。
■申込方法 以下のいずれかの方法で、氏名・電話番号・託印の有無を記入し、送付。
①往復はがき ②ファクシミリ
③Eメール kouza.center@edu.pref.shizuoka.jp
【「マナビット21」からも申し込みます。】

■日時 12月20日(木) 13時30分～15時15分
■会場 グランシップ中ホール ※入場無料
■申込期間 9月26日(水)～10月24日(水) 先着800人。定員になり次第締切。

■申込方法 以下のいずれかの方法で、氏名・電話番号・託印の有無を記入し、送付。
①往復はがき ②ファクシミリ
③Eメール kouza.center@edu.pref.shizuoka.jp
【「マナビット21」からも申し込みます。】

■申込方法 以下のいずれかの方法で、氏名・電話番号・託印の有無を記入し、送付。
①往復はがき ②ファクシミリ
③Eメール kouza.center@edu.pref.shizuoka.jp
【「マナビット21」からも申し込みます。】

■申込方法 以下のいずれかの方法で、氏名・電話番号・託印の有無を記入し、送付。
①往復はがき ②ファクシミリ
③Eメール kouza.center@edu.pref.shizuoka.jp
【「マナビット21」からも申し込みます。】

平成26年4月に開校する志穂地区及び天竜地区 新構想高等学校の校名を募集します!

県立大井川高等学校と県立吉田高等学校を再編して開校する志穂地区新構想高等学校、及び、県立二俣高等学校、県立天竜林業高等学校、県立春野高等学校を再編して開校する天竜地区新構想高等学校の校名を募集しています。地域から愛され、幅広く県民等から親しみを持ってもらえる校名をお寄せ下さい。

- 応募方法
次の事項を記入し、はがき、ファクシミリ、電子メールのいずれかで応募してください。
○応募する高校の地区(志穂地区/天竜地区) ○校名案(1通につき、現在の校名は対象外)
○校名の理由やイメージ等 ○住所、氏名、電話番号
- 募集締切 平成24年10月12日(金)
- 校名発表 平成25年3月(予定)
- 校名採用者 記念品を贈呈。採用校名の応募者が多数の場合は、抽選により決定します。
- 問い合わせ、応募先
県教育委員会学校教育課高専再編整備室
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 Ⅸ054(221)3113 Ⅸ054(221)3558
E-mail kyoui_gakukyo@pref.shizuoka.lg.jp

	志穂地区新構想高等学校(仮称)	天竜地区新構想高等学校(仮称)
設置場所	現在の大井川高等学校の校地	天竜校舎(仮称) 現在天竜林業高等学校の校地及び二俣高等学校のグラウンド 春野校舎(仮称) 現在の春野高等学校の校地
設置学科等	全日制の課程・普通科(学年制)及び福祉科(学年制)	天竜校舎(仮称) 全日制の課程・総合学科(単位制)及び農業(林業)科(学年制) 春野校舎(仮称) 全日制の課程・普通科(学年制)
再編対象校	県立大井川高等学校 県立吉田高等学校	県立二俣高等学校 県立天竜林業高等学校 県立春野高等学校

ひきこもりで悩んだときは… 「アンダンテ」に

青少年交流スペース「アンダンテ」は、15歳から30歳のひきこもり傾向にある青少年の円滑な社会復帰及びその家族を支援するための交流の場です。無料で利用できます。

■ところ 県男女共同参画センター「あざれあ」5階(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)
■親の学習会(新規利用者対象)
■11月10日(土) 13:00～
ひきこもりに悩む青少年の保護者や家族を対象にした学習会です。「アンダンテ」の活動内容紹介、カウンセラーとの相談などを行います。

個別面談及び電話相談
■毎週月～土曜日10:00～16:00
ひきこもり傾向にある青少年やその家族の相談に丁寧に対応します。
■面談希望の方は、事前の予約が必要です。電話又はファクシミリでお申し込みください。

フリースペース
■毎週月～土曜日 9:30～16:00
ひきこもり傾向にある青少年が安心して自由に使える場です。

親(保護者)の会
■毎月第3土曜日の午後
ひきこもり傾向にある青少年を抱える家族の交流会です。
問・申 「アンダンテ」Ⅸ054(255)0600
■ホームページ
http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080
【社会教育課】

祝日カレンダー
平成20年(2008年)に制定された「祝日カレンダー」が、おおよそ4年半にわたって御協力のおかげで、今年度も発行することができました。りごとくご活用ください。

実践レポートは既に2000人の教職員の方々に御執筆いただきました。皆様の日頃からの頑張りが、子どもに対する思いを伝えています。今後とも頑張りたい方を応援し、教育現場の活性化につながることを目指します。さて、もうすぐ10月、今年度もいよいよ10月10日(土)から10月15日(金)までの期間、また半分もつきました。ぜひ、お申し込みください。申し込みは、個人名でも構いません。楽しい日々を送りたいものです。(注)

具体的な書名が分からない場合は、「書名検索」のボックスにキーワードを入れてみましょう。キーワードを書名に含んだ本のほか、直接書名には含まれない本

【国立中央図書館企画展】
子どもに対する思いを伝えています。今後とも頑張りたい方を応援し、教育現場の活性化につながることを目指します。さて、もうすぐ10月、今年度もいよいよ10月10日(土)から10月15日(金)までの期間、また半分もつきました。ぜひ、お申し込みください。申し込みは、個人名でも構いません。楽しい日々を送りたいものです。(注)

この検索システムをOPACオンラインパブリックアクセスメニューからアクセス・カタログといいい、普段は書名を入力し、所蔵の有無や場所を確認する方が多いのではないのでしょうか。ところが書名が曖昧なときや、テーマで探したいときは、この検索方法ではなかなか目的の本にたどりつきません。

こんなときこそ、OPACを使いこなせば、お探しの本にグッと近づけることができます。各図書館で違いがありますが、今回は当館ウェブOPACで検索してみました。

キーワード、著者名から探す
具体的な書名が分からない場合は、「書名検索」のボックスにキーワードを入れてみましょう。キーワードを書名に含んだ本のほか、直接書名には含まれない本

他にも検索方法はまだまだありますが、それでも見付からない場合は、「おうえんくんサーチ(本誌91号掲載)で検索する。県内の図書館で所蔵している本の一括検索が可能です。ぜひこの機会に検索方法を覚え、様々な角度からお探しの資料へ近づける方法を試してください。

OPAC活用の ススメ

目指せ検索の達人!
図書館で借りたい本があるとき、本棚へ直接行くほかに、館内の蔵書検索用端末あるいはパソコンや携帯電話から各図書館のウェブサイトにアクセスして探す方法があります。

分類から探す
図書館の本は日本十進分類法(NDC)によって分類されていますが、それを利用して「分類検索」も便利です。例えば、中部地方の遺跡の本を探しているときは、まず2類の「歴史をクリック」すると200から290の一覧が出てきます。「200日本の歴史」をクリックするとさらに詳しい要目表がそこから、215中部地方を選び、書名欄に「遺跡」と入れると候補をキユッと絞ることができます。

また、特定の作家の著作物を読みたいときは、「著者」の検索ボックスに名前を入力します。漢字が分からない、メモのとおりに検索したのにヒットしない、こんなときはヨミカタカナで検索してみてください。

人形浄瑠璃 文楽 先生方、文楽を観たことがありますか? 日本が世界に誇る伝統芸能をグランシップで!

10月14日(日) 昼の部13:30～/夜の部18:30～ グランシップ 中ホール・大地
ユネスコ無形文化遺産で日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。県内ではグランシップだけで鑑賞することができます。
「グランシップ伝統芸能シリーズ」のテーマに連動し、「平家物語」に関連した演目をお届けします。
部活動などでの団体鑑賞には「中高生鑑賞プラン」をご利用いただけます。
昼の部:桂川連理桐～六角堂の段 ～帯屋の段 ～道行齋の桂川
夜の部:二人禿、義経千本桜～すしやの段
【全席指定】 一般3,500円 昼夜通し券6,300円 学生1,000円 中高生鑑賞プラン800円
チケットのお申込み・お問い合わせ
グランシップチケットセンター 054-289-9000 グランシップホームページからも購入ができます。